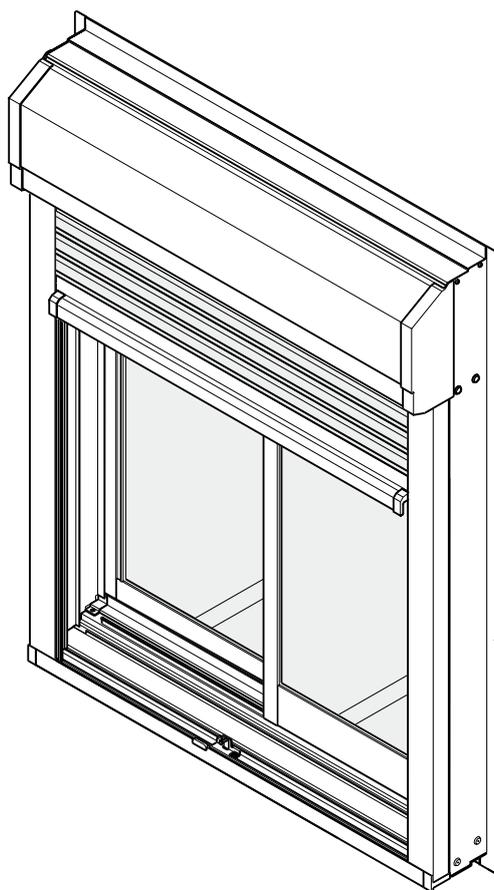


らくらく電動シャッター イタリヤEZ

取扱い説明書



ご使用にあたって

- この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	1
■ 特に注意していただきたいこと	2~4
注意	2
お願い	3・4
■ 「イタリヤEZ」について	5・6
1.自動停止機構について	5
2.各部の名前とはたらき	5
3.シャッター開閉のしかた	6
■ 幅木ロック機構の使いかた	7
1.幅木ロックとは	7
2.幅木ロックの操作のしかた	7
■ 停電時開閉機構の使いかた	8
1.停電時開閉機構とは	8
2.開閉のしかた	8
■ 点検とお手入れ	9・10
1.点検	9
2.自動停止機構の作動点検	9
3.お手入れのしかた	10
■ シャッターが動かない場合	10
処置のしかた	10
■ 商品保証について	11

重要なお知らせ

ご使用の前に

●安全のために、必ずお守りください。

「イタリヤEZ」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用又は誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

- 1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。したがって、「イタリヤEZ」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
- 2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。
- 3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問い合わせ内容	連絡先窓口	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-4134-33

警告用語の種類と意味

※この章では、「イタリヤEZ」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ(又は事故の大きさ)にしたがって、次の2段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

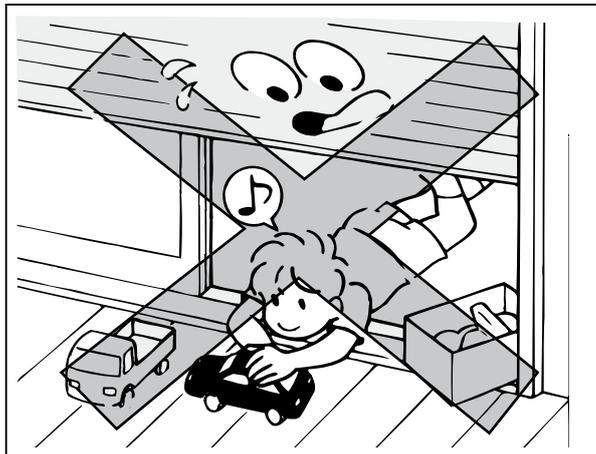
警告用語	意味
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お願い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示にしたがわないと機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

▲ 注 意

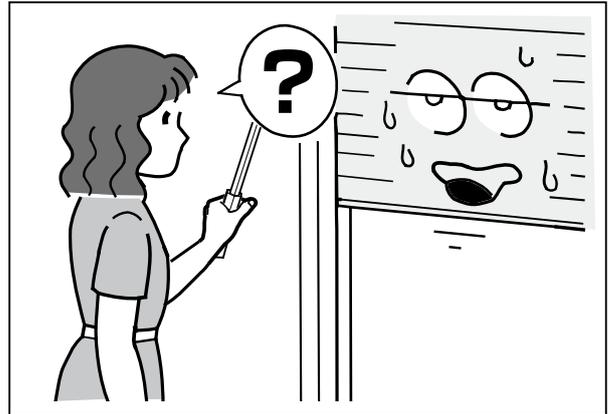
- 改造しないでください。事故・故障の原因となります。
- 開閉の際は周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。



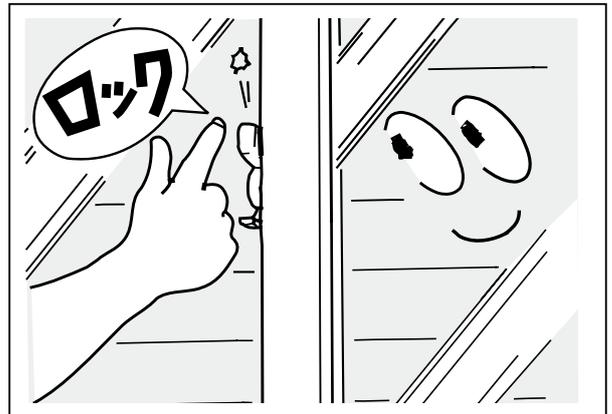
- 開閉中は開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。
- 点検口を開けて内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になるおそれがあります。
- 自動停止機構を点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手をはさまれケガをするおそれがあります。
- 自動停止機構の点検時に、シャッターの下降が停止しない場合は操作棒を開方向に回し、シャッターを開けてください。事故・故障の原因になります。

お願い

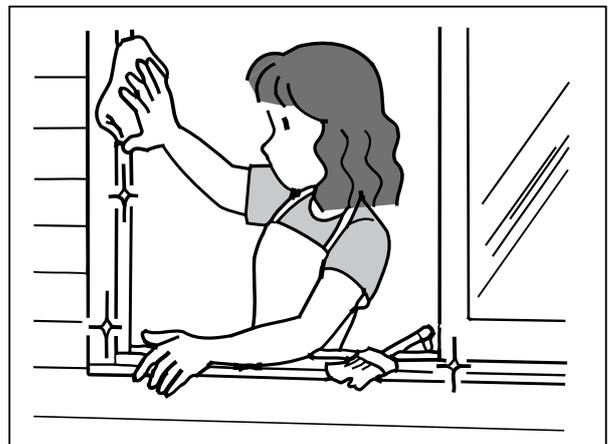
- 短時間で繰り返し開閉しないでください。保護装置が働き、一定時間動作が停止します。(故障ではありません。) 20~30分程度間をおくと、再び開閉できます。



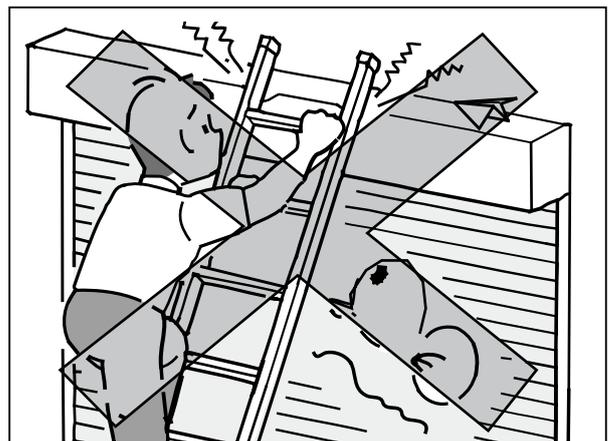
- おやすみ又は外出の際は「シャッター」を閉め、必ず内側のサッシなどもロックしてください。強風・雨の際もきちんとロックをしてください。



- 下枠やガイドレール内部は常に清掃し、異物がないようにしてください。

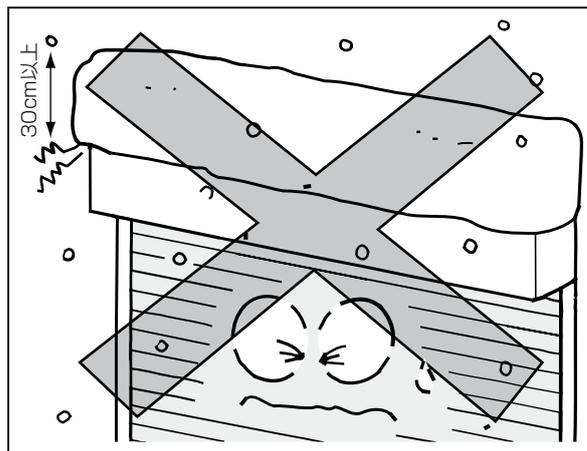


- 「シャッターボックス」にはしごをかけたり、上にのったりしないでください。変形するおそれがあります。

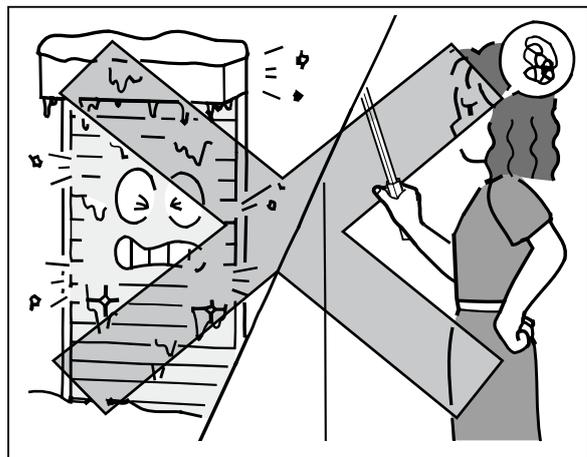


お願い

- 「シャッターボックス」に雪が30cm以上積もった場合は、必ず取除いてください。
又、その際は足場をしっかりと確保して作業してください。転落・負傷するおそれがあります。



- 冬季などに凍結した場合は、必ず溶けてから操作してください。無理な作動は故障や破損の原因になります。



- シャッターに物をはさまれた場合は、シャッターを上昇させてから取除いてください。
- シャッターボックス内部に絶対に水をかけないでください。駆動装置が組込まれていますので、故障の原因になります。
- 本商品は過負荷を検出して停止するという構造になっています。商品の特性上、シャッター全閉時にスラットを下に押付けた状態で停止するため、スラットが波打った状態になることがあります。（故障ではありません）品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- 本商品は電動モーターの出力とシャッターのスラット重量を、巻取り軸に内蔵のスプリング力でバランスをとりながら開閉する構造になっています。商品の特性上、バランス状態によっては開閉途中で引っ掛かるような動きをすることがあります。（故障ではありません）品質に問題はありませんので、安心してお使いください。
- 風が強い場合は、サッシを閉めてから、開閉操作を行ってください。シャッターが途中で停止するおそれがあります。
- 操作棒を強く引っ張ったり、ぶら下がったりしないでください。操作棒が外れ思わぬ事故の原因になります。操作棒が外れてしまったら、ジョイントボックスに再び差込むことでシャッターを動かすことができます。（故障ではありません）

「イタリアEZ」について

1

自動停止機構について

- 「イタリアEZ」は開閉中に異物を検知すると、その場で停止します。

お願い

- 「イタリアEZ」は一定の負荷を検知して、停止する構造です。サイズや異物の位置によっては、検知するまでに時間がかかる場合があります。その場合、検知するまでの間、モーターが回り続けるため、ボックス内でスラットの巻きだるみが発生します。巻きだるみが発生した状態で異物を取除くと、スラットがずり落ちてくる可能性がありますので、開スイッチを押してシャッターを巻き上げてから異物を取除いてください。

⚠ 注意

- 開閉の際には周囲に人・物がいないことを確かめてから開閉してください。はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
- 開閉中には開閉位置に顔や手を出さないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。
- 自動停止機構はあくまで補助手段です。異物のないことを確認した後、操作してください。

2

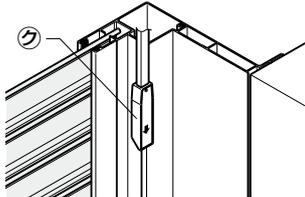
各部のなまえとはたらき

- 「イタリアEZ」の操作は「3.シャッター開閉のしかた」の手順にしたがってください。

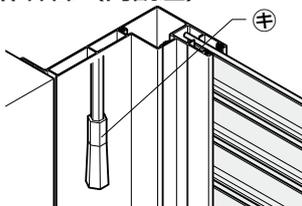
■本体

- 「イタリアEZ」本体の各部のなまえとはたらきを説明します。

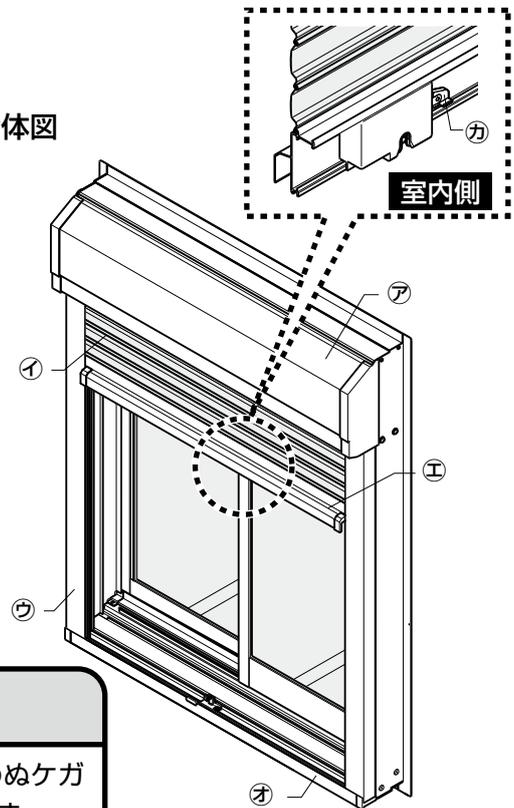
■停電時開閉機構操作部（内観右） （停電時開閉機構付きの場合）



■操作棒部（内観左）



「イタリアEZ」全体図



⚠ 注意

- 点検口を開けて、内部の部品を触らないでください。思わぬケガをしたり、作動不良の原因になったりするおそれがあります。

●本体各部のなまえとはたらき

記号	なまえ	はたらき
㉒	シャッターボックス（点検口）	スラットおよびモーターなどを収納する部分です。モーターなどの点検口です。
㉑	スラット	カーテン部分です。
㉔	ガイドレール	両側にあり、スラットの動きを誘導します。
㉕	幅木	スラットの最下部で、防犯性を高める幅木ロックが組込まれています。
㉖	水切り	底の部分で、雨水などを流します。
㉗	幅木ロックレバー	おやすみや外出するとき使用します。
㉓	操作棒	左右に回転させることでシャッターの開閉を行います。
㉑	ハンドル	停電時開閉機構の操作部です。（停電時開閉機構付きの場合）

3

シャッター開閉のしかた

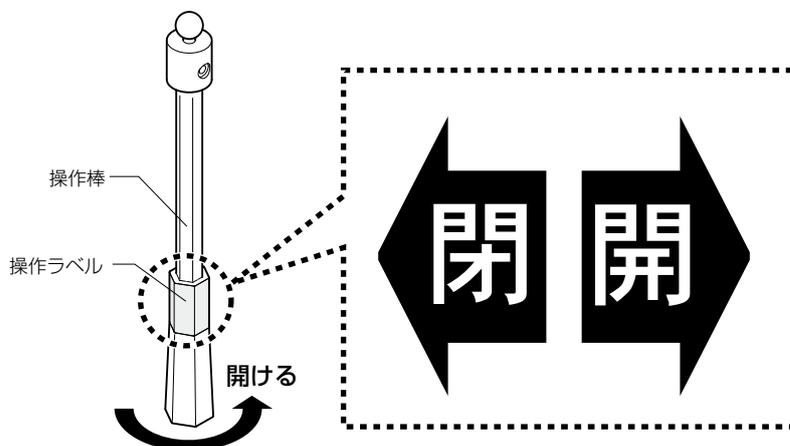
●シャッターの開閉は操作棒を用いて行います。

①操作棒ホルダーより操作棒を外します。

②操作棒を回します。

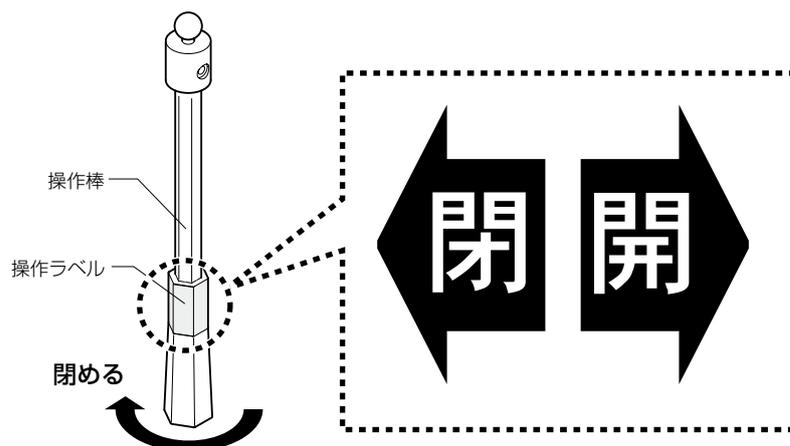
■シャッターを開ける場合

●操作棒に張ってあるラベルの開矢印の向きにしたがって操作棒を回します。



■シャッターを閉める場合

●操作棒に張ってあるラベルの閉矢印の向きにしたがって操作棒を回します。



■シャッターを途中停止させる場合

●開動作中の場合

・ラベルの閉矢印の向きにシャッターが停止するまで、操作棒を回します。回し過ぎますと、シャッターが閉り始めますので、ご注意ください。

●閉動作中の場合

・ラベルの開矢印の向きにシャッターが停止するまで、操作棒を回します。回し過ぎますと、シャッターが開き始めますので、ご注意ください。

③シャッターの動きが止まったら、操作棒を操作棒ホルダーに戻します。

▲ 注意

- 開閉位置に人・物のないことを確かめてから開閉してください。
はさまれてケガをしたり、物をはさんだりするおそれがあります。
- 開閉中には顔や手を出さないでください。
はさまれてケガをするおそれがあります。

幅木ロック機構の使いかた

※この章では、幅木ロックの操作のしかたについて説明しています。

1

幅木ロックとは

- 「イタリアEZ」は自動ロック機構を装備していますが、おやすみ、外出時の防犯性を高めるため、手動式のロックを用意しています。このロックを幅木ロックといいます。

お願い

- おやすみ時や外出時は、幅木ロックを施錠してください。
- 内側のサッシなども必ずロックしてください。

2

幅木ロックの操作のしかた

■施錠方法

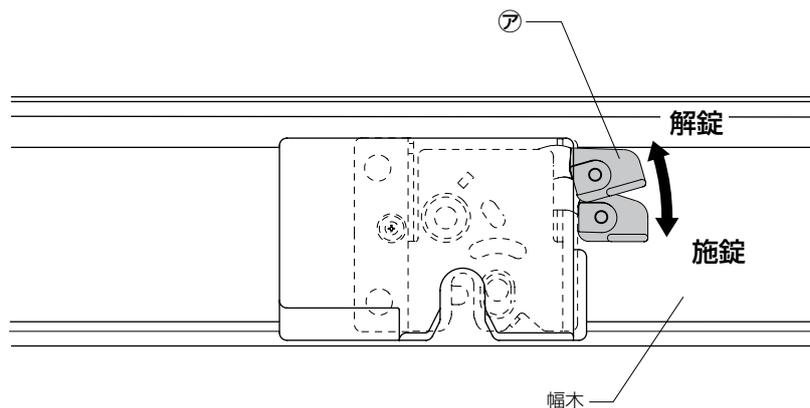
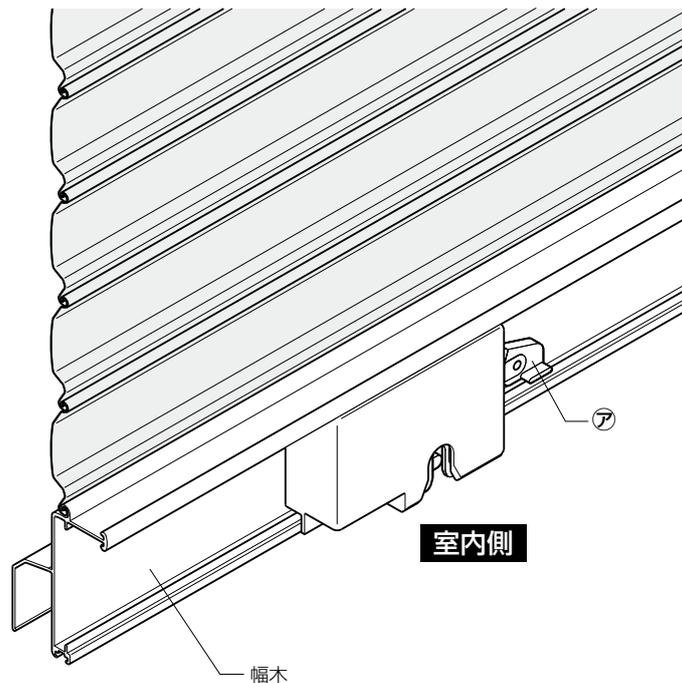
- ①シャッターを閉めます。
- ②幅木ロックレバー^アを施錠側に倒します。

■解錠方法

- 幅木ロックレバー^アを解錠側に倒します。

お願い

- 幅木ロックを施錠したまま、シャッターを開ける操作をすると、シャッターが破損するおそれがあります。必ず解錠してから開閉操作をしてください。



停電時開閉機構の使い方

※この章では、停電時開閉機構の使い方について説明しています。

1

停電時開閉機構とは

- 「イタリアEZ」は電動式シャッター雨戸ですが、停電時開閉機構付きの場合は、手動でも開け閉めできます。

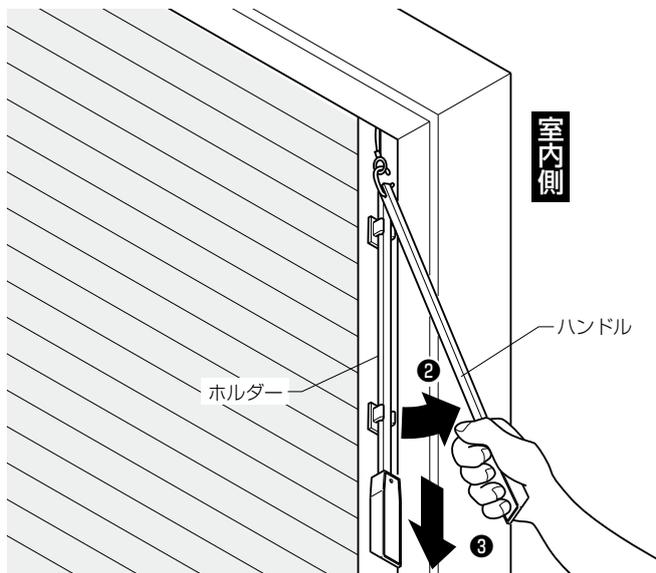
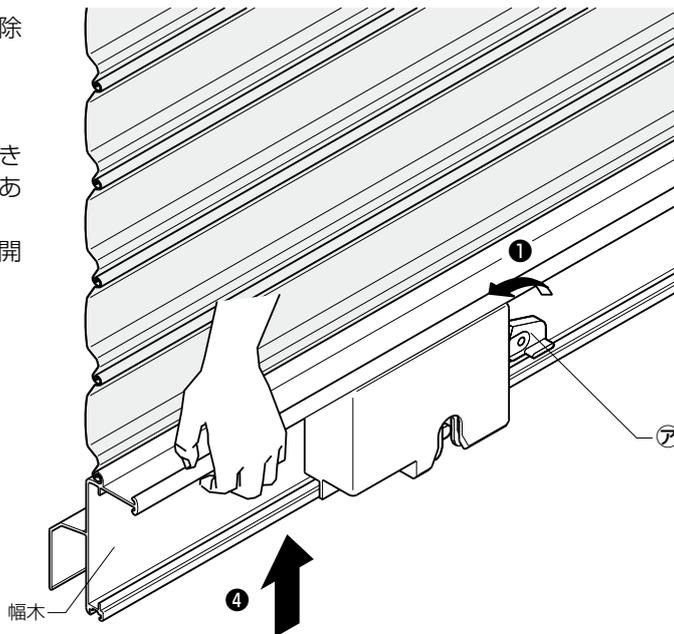
お願い

- 非常時にも必ず開閉できるように、「開閉のしかた」にしたがって1年に1回程度作動確認をしてください。

2

開閉のしかた

- ①サッシの障子を開き、幅木ロック^アを解除します。
- ②ハンドルをホルダーから外してください。
- ③ハンドルを下方に引いてください。
(ハンドルを下方に引くとスラットが巻き上がり大きな音が発生しますが故障ではありません。)
- ④そのまま幅木を持ち上げ、シャッターを開けます。



- ⑤再度ハンドルを下方に引いてください。電動開閉に戻ります。
(ハンドルはホルダーに固定してください。)

点検とお手入れ

※この章では、「イタリアEZ」の操作をする場合を守るべき安全事項を説明しています。

1

点検

- 「イタリアEZ」を安全にご使用いただくため下記の点検を行ってください。点検を行って、作動不良や異常がありましたら、お買い求めの工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。
- 自動停止機構の点検を行う場合は、必ず本章の手順にしたがってください。本章の手順にしたがわない場合、事故のおそれがあります。

●点検箇所

番号	点検部分	点検内容
1	ガイドレール部 スラット部	作動がスムーズに行えないようなキズや曲がりなどの変形はないか。
2	自動停止機構の作動	自動停止機構が作動するか本章の点検手順にしたがってください。
3	手動開閉	操作手順にしたがい、手動で開閉できるか。 (停電時開閉機構付きの場合)

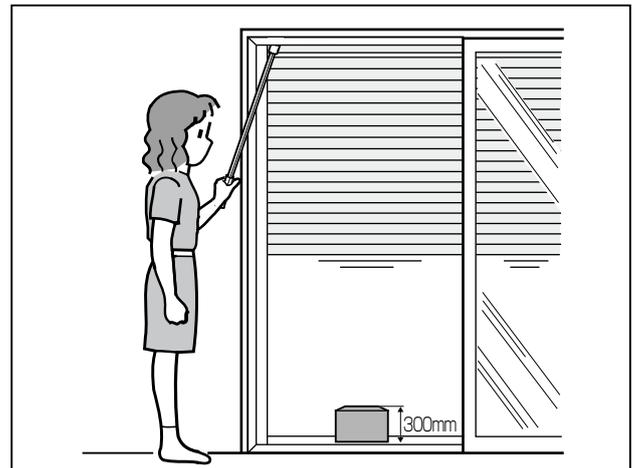
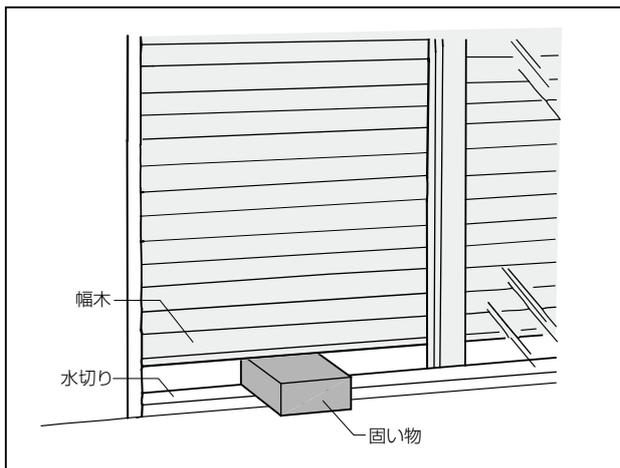
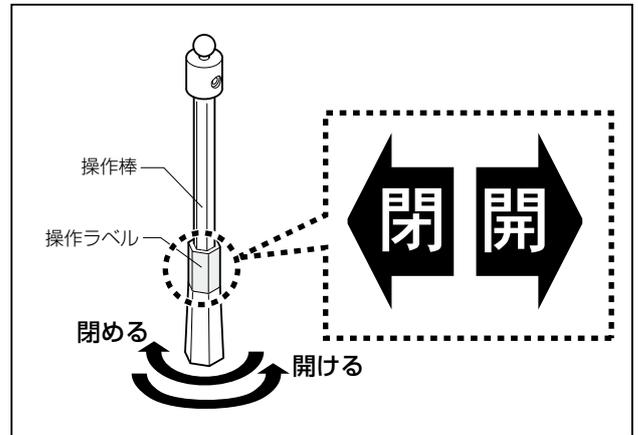
2

自動停止機構の作動点検

⚠ 注意

- 自動停止機構を点検するときは、シャッター周辺に手をふれないでください。シャッターと窓枠の間に手をはさまれケガをするおそれがあります。
- 自動停止機構の点検時に、シャッターの下降が停止しない場合は操作棒を開方向に回し、シャッターを開けてください。事故・故障の原因になります。

- ①シャッターを全開状態にします。
 - ②水切りの上に300mm程度の高さの固いものを置いてください。
- ※開口上部で実施しないでください。スラットの巻きだるみが発生し、スラットが破損する場合があります。
- ③操作棒を閉方向に回し、シャッターを閉めてください。
 - ④シャッターが固いものにあたり、下降が停止します。
 - ⑤操作棒を開方向に回し、シャッターを全開にします。
 - ⑥シャッターが全開停止していることを確認してから水切りの上の固いものを取除いてください。
 - ⑦シャッターが以下の状態のとき、お買い求めの工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターへ連絡してください。
→シャッターの下降が停止しない。



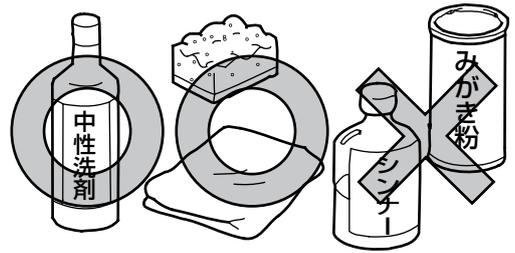
3

お手入れのしかた

- 「イタリアEZ」はアルミニウムおよび鋼板で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリは腐食の原因になりますので定期的な掃除してください。

お願い

- お手入れには柔らかい布・スポンジを使用し、金属製ブラシ・金ペラなどを使用しないでください。
- 洗剤は、必ず中性のものを使用してください。



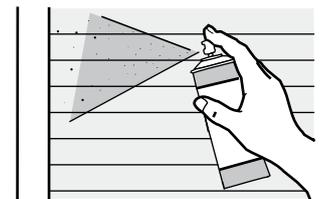
- ①表面に付いたゴミ・ホコリ・砂などを取除いてください。
- ②ガイドレールに付いたゴミ・ホコリなどをふき取ってください。隅の方は、歯ブラシ・洋服ブラシなどで掃除してください。



- ③以下の要領で汚れを落としてください。
 - 【あまり汚れがひどくない部分】
 - ・ぞうきんで水ぶきした後、からぶきしてください。
 - 【特に汚れがひどい部分】
 - ・うすめた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤が残らないようぞうきんでよく水ぶきした後、からぶきしてください。



- ④鋼板部にサビがでた場合
 - まず、目の細かい紙ヤスリなどでサビを完全に落とします。次に、市販のスプレー式ラッカーを吹付けてください。そのとき、スラットのかみ合っている部分などの可動部にかからないように注意してください。



シャッターが動かない場合

- シャッターが動かない場合は、必ず以下の操作を行ってから、表の指示にしたがってください。

処置のしかた

ここをお調べください	処置のしかた	参照ページ
停電していませんか？	停電が終わるまでお待ちください。	—
ブレーカーが落ちていませんか？	ブレーカーをセットしてください。	—
操作棒は正しく操作しましたか？	「操作のしかた」を参照してください。	P.6
手動で開閉できますか？ (停電時開閉機構付きの場合)	ハンドルを引いて電動開閉に戻してください。	P.8
ガイドレールに障害物がありませんか？	障害物を取除いてください。	—
ガイドレール・スラットなどが変形していませんか？	変形している場合はただちに使用を中止し、お買い求めの工務店、販売店又はお客さま相談センターへご連絡ください。	P.1
連続して開閉しませんでしたか？	20～30分程度休ませてから開閉してください。	P.3
シャッターが凍結していませんか？	凍結している場合は、溶けるまで待ってから作動させてください。無理に作動させると故障の原因となります。	P.4

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにご相談ください。

■ **対象商品** サッシ・ドア商品

■ **保証期間** 施工者よりの引き渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

*ただし、「住宅の品質確保の促進等に関する法律」第2条第1項及び第2項に規定する「新築住宅」に取付けられた商品(同法第94条第1項に定める「雨水の浸入を防止する部分」として同法施行令第5条第2項に該当する部分に限る)からの雨水浸入については10年間とします。

■ **保証内容** 取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがあります。これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■ **免責事項** 保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
(例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色や腐食など)
- ②お客様の指図による、正規仕様でない特別な仕様にて製作した部分に起因する不具合
(例えば、サッシ・ドアの防犯性能、使い勝手、操作性の低下など)
- ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ⑤商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合
- ⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。ガラスの熱割れ。強化ガラスの自然破損。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
- ⑦商品又は部品の材料特性に伴う現象
(例えば木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、ふし抜け、樹液のにじみ出しなど)
- ⑧天災その他の不可抗力
(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ⑨施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑩犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合
- ⑪引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(例えば、クレセント・錠などの部品が、使用中にがたついたり異音などが発生し、異常が生じたまま使用し続けたことが原因で発生した傷・破損などの不具合)
- ⑫お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

*保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

*本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は当社お客さま相談センターにお問い合わせください。

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
-

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-4134-33 FAX.☎0120-4134-36

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトから
ご確認ください。

取説番号	MAJ-541E	事業所コード	LM18	2013.09.20 発行
------	----------	--------	------	---------------

